

Stanley Park • Vancouver Aquarium

ダウンタウンの西に位置するスタンレーパークは、原生林の広がる総面積 400ha の広大な公園である。1888 年の開園当時のカナダ総督であったスタンレー卿からその名をとったという。公園内には水族館や海水浴場、ドッグランスペースなどがあり、さまざまな動植物と共存して楽しめる、憩いの場となっていた。

スタンレーパーク内を歩いていると、日本人の名前が刻まれた石碑を発見した。これは、第一次世界大戦のときにカナダのために戦争に赴き、戦って亡くなった日本人および日系カナダ人の方々を追悼するための慰霊碑だという。当時は人種差別があり、選挙権を与えられなかった彼らであるが、戦後になってその榮譽を称え、1932 年に建立された。



Picture 1 慰霊碑



Picture 2 cycling

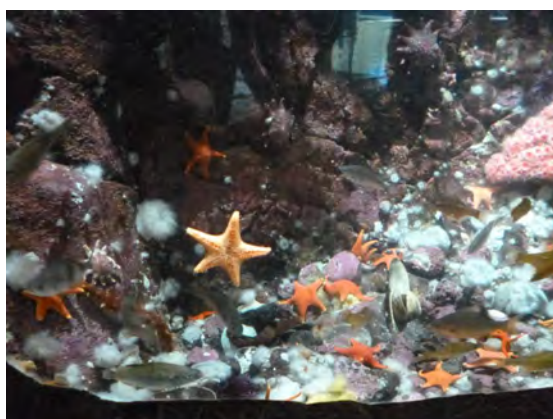
スタンレーパークの近くには、自転車のレンタルショップが並び、旅行者でも気軽にサイクリングを楽しめるようになっている。バンクーバーでは、自転車だけでなくローラースケートやスケートボードも盛んで、公園内には自転車とローラースケートのための速度標識があった。スタンレーパークを一周できるサイクリングロードがあり、17人全員で2時間ほどかけてサイクリングを楽しんだ。歩行者も安心して散歩を楽しめるように、自

転車・ローラースケートと歩行者の通る道が段差で分かれていたことが特徴的であった。観光客の方も地元市民の方も気さくな人が多く、笑顔であいさつしてくださった。9月中旬の天候にも気候にも恵まれた一日で、きれいな海を眺めながら自転車で風を切って走るのは、とても気持ちがよかった。

サイクリングをしていて一番驚いたことは、多くの人が9月だというのにビーチで海水浴を楽しんでいた、ということである。いくら天候が良いといっても、秋服でも少し肌寒いほどの気温である。日本人と現地の人では体感温度が違うからかもしれないが、国の違いを見せつけられた瞬間であった。



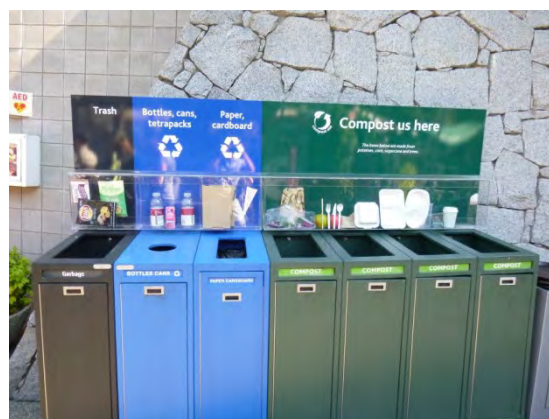
Picture 3 Beach



Picture 4 Aquarium

スタンレーパーク内にあるバンクーバー水族館では、たくさんの種類の海洋性動物を眺め、楽しむことができると同時に、絶滅危惧種が書かれた案内板もあり、環境問題について考えさせられる一面もあった。数多くの魚やヒトデだけでなく、日本では珍しいブルーガやペンギン、ワニなどもいて、生物多様性をひしひしと感じさせられた。

水族館内にあるゴミ箱は、コンポストできるもの、ペットボトル、ペーパーダストなど細かく分類されていた。観光客でも簡単に分別して捨てられる工夫として、ゴミ箱の前にその見本となるものが提示されており、日本においてもこのような工夫が必要だと強く思った。



Picture 5 Dust box

スタンレーパークはレジャー施設であると同時に、多くのことを学べる場でもあり、大変貴重な経験ができてよかったと思う。